

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・秋葉原駅前再開発の中核施設がグランドオープン P 1
- ・まちづくり交付金情報交流協議会の設立/まち交大賞表彰式の開催/協議会設立記念シンポジウムの開催 P 2 ~ 3
- ・財団の活動状況 P 4
- ・「まちづくり交付金制度等」講習会開催報告 P 5
- ・平成17年度 第3回プロジェクト説明会「鎌ヶ谷東口駅前プロジェクト」の開催報告 P 5
- ・大学と地域の連携協働による都市再生の推進 P 6 ~ 7
- ・「高知駅周辺拠点街区まちづくりアイデア募集」説明会 開催報告 P 8

《ハイライト》

- ・秋葉原駅前再開発の中核施設がグランドオープン
- ・まちづくり交付金情報交流協議会の設立
- ・「まちづくり交付金制度等」講習会開催報告

§ 秋葉原駅前再開発の中核施設がグランドオープン

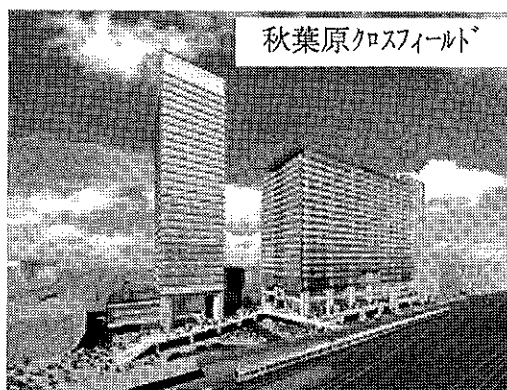
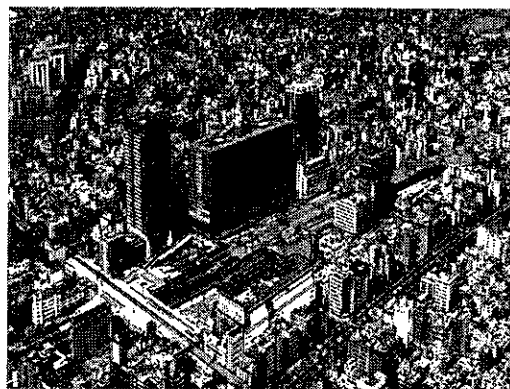
平成10年に当機構が中心となって国や東京都に再開発ビジョンを提言し、東京都のまちづくり戦略を側面支援したことが一助となって動き出した秋葉原駅前再開発の中核施設である「秋葉原クロスフィールド」が、今年9日の秋葉原UDXビル竣工によりグランドオープンとなりました。

「我が国のIT戦略を牽引する秋葉原」を目指すまちづくりの中核施設として位置づけられているのが、産学官連携のハブ拠点として期待されている「秋葉原クロスフィールド」であり、今年オープンした「秋葉原UDXビル」と昨年3月に竣工した「秋葉原ダイビル」により構成されております。

ここには、東京大学・首都大学東京等の大学のサテライトキャンパスや、新産業創出の牽引役である(独)産業技術総合研究所などが入居しております。

我々が提言した「我が国をリードするビジネス創造都市」がこのような形で第一歩を踏み出したことは、ご同慶の至りであります。

秋葉原は、昨年8月に開通した「つくばエクスプレス」や「筑波学園都市」などとの連携による相乗効果が期待されており、こうした局面でも当機構が何等かの役割を果たして行ければ幸いです。





§ まちづくり交付金情報交流協議会の設立

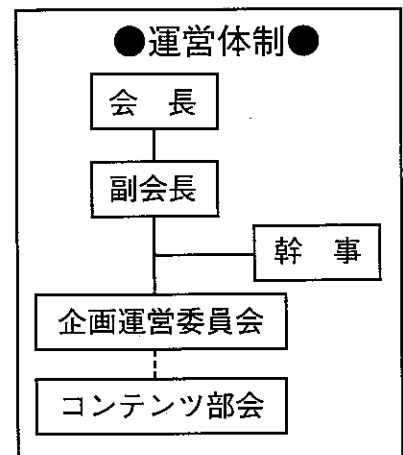
まちづくり交付金情報システム（まち交ネット）推進体制を強化し、まちづくり交付金制度の有効活用を図るための情報交流組織として、「まちづくり交付金情報交流協議会」が、去る2月27日（月）に226地方公共団体の参加を得て設立されました。

設立総会の会場となった日本消防会館には、来賓として参加された国土交通省の幹部の他、80人近い関係者が集まり活気ある設立総会となりました。

来賓の国土交通省都市・地域整備局の加藤審議官と住宅局の和泉審議官から、「まちづくり交付金は、各市町村の方々からその使い勝手の良さに評価を頂いている。本協議会の活動が地域主導のまちづくり推進に貢献するものであることを期待している。」「全国都市再生、都市再生モデル調査、そしてこのまちづくり交付金へと確実に成長してきた。これらが相乗効果を上げていることが大事。各市町村がお互いのアイデアを出しあい影響しあってユニークな都市再生をすることが一番の目標」との挨拶がありました。

また、会長に選任された中村時広氏（松山市長）から、「町の魅力をいかに輝かせるかというのはどの市町村でも同じ悩みであり課題である。まち交はまちづくりへの脱皮を後押しする制度である。より総合力を高めるためには、ネットワークを構築し、それぞれのまちが情報を共有し、刺激し合うことがテーマになってくる。結果に繋がる運営を心がけていきたい」との挨拶がありました。

なお、本協議会の事務局は当機構において務めることになりました。



§ まち交大賞表彰式の開催

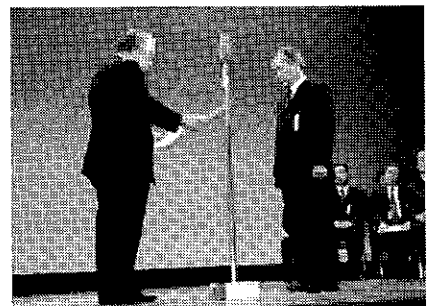
当日は、設立総会に引き続いて、まちづくり交付金情報交流協議会と当機構共催による表彰式が開催されました。

本表彰は、都市再生のための優れた計画が策定された地区を対象として表彰し、これを全国の都市再生のモデルとして紹介するものであり、以下の地区が表彰されました。

【総合賞】

◇計画大賞（国土交通大臣賞）⇒ 愛知県犬山市

（講評）町屋改修を盛んに行って古い街並みを大切にしている。住民による改修を行政が指導し改修率を指標化している。





◇創意工夫大賞

- ・まちづくり交付金情報交流協議会会長賞 ⇒ 北海道虻田町
(講評) 災害により減ってしまった観光客を取り戻すための挑戦をしている。
- ・都市みらい推進機構理事長賞 ⇒ 富山県富山市
(講評) 既存の沿線を工夫してコンパクトシティを实践。古いものを生かして公共交通に取り組んでいる。

【部門賞】

- ◇テーマ賞 福井県鯖江市、宮城県登米市、茨城県桜川市、石川県加賀市
- ◇アイデア賞 沖縄県うるま市、岡山県倉敷市、東京都調布市、宮城県栗原市
- ◇プロセス賞 愛知県安城市、神奈川県鎌倉市

§ 協議会設立記念シンポジウムの開催

また当日は、表彰式に引き続いて、記念シンポジウムも開催されました。

NHKで放映された「世界遺産イタリア縦断1200キロ」にコメンテーターとして出演された陣内秀信法政大学教授の基調講演（イタリアにおける地方都市の個性を生かしたまちづくり）の後、「個性を生かしたまちづくり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。



- | | | |
|----------|--|---------|
| コーディネーター | ◇東京海洋大学教授 | 高橋 洋二 氏 |
| パネラー | ◇明海大学助教授 | 浅田 義久 氏 |
| | ◇中国・地域づくり交流会事務局長 | 浅野ジュン 氏 |
| | ◇北海道虻田町長 | 長崎 良夫 氏 |
| | ◇国土交通省 都市・地域整備局 まちづくり推進課
都市総合事業推進室長 | 望月 明彦 氏 |

ここでは、①地域資源を見つけ出す、引き出すコツは？

②これからのまちづくりのヒント

③官民共同の取組み

の各テーマで議論が行われ、「地域資源の価値の再認識」・「外部からの客観的分析」・「そのまちの魅力に特化した重点投資」・「地域の合意形成の重要性」等が、キーワードとして導き出されました。





§ 財団の活動状況

日	1・2月	日	3月
1/12	第6回県都岐阜市のまちづくり協議会	1	ITを活用したまちづくりセミナー（岐阜市内）
12	厚木市都市水路計画調査ワーキング	2	* 平成17年度まちづくり交付金講習会（大阪会場）
18	普天間飛行場跡地利用基本方針検討調査WG会議	2	MIPIM2006結団式
24	厚木水路計画第5回協議会	6	敦賀駅周辺整備構想策定委員会（第3回）
24	第7回県都岐阜市のまちづくり協議会	6	北九州モデル調査打合せ
26	三次市モデル調査WG会議	7	品川周辺地域基本計画策定意見交換会
30	第8回県都岐阜市のまちづくり協議会	8	* 平成17年度まちづくり交付金講習会（名古屋会場）
30	平成17年度まち交大賞第1回実行委員会	9	厚木市都市水路計画第6回協議会
30	敦賀駅周辺整備構想策定委員会（第2回）	10	あすと長町施設立地研究会幹事会
2/1	東久留米市：地域産業振興委員会（第5回）	13	普天間飛行場跡地利用基本方針検討調査WG会議
3	柏市旧吉田邸管理運営検討委員会	14	「IT技術等による駐輪場システムを活用したまちづくり推進等検討調査」検討会（第3回）柏市
3	まちづくり講演会（不動産証券化・地域マネジメント動向）	14~17	「MIPIM2006」（カンヌ開催）
7	品川周辺地域基本計画策定委員会（第3回委員会）	17	あすと長町施設立地研究会全体会
8	* 高知市まちづくりアイデア募集評価委員会	22	第11回県都岐阜市のまちづくり協議会
8	平成17年度まち交大賞第2回実行委員会	24	当財団「企画運営委員会」
8	第9回県都岐阜市のまちづくり協議会	28	品川周辺地域基本計画策定委員会（第3回分科会）
10	普天間飛行場跡地利用基本方針策定審議会（第4回）	28	第12回県都岐阜市のまちづくり協議会
13	* 高知市：高知駅前開発アイデアコンペ説明会	29	当財団「第25回評議員会」
13	まちづくり交付金情報交流協議会設立発起人会	29	当財団「第40回通常理事会」
15	「IT技術等による駐輪場システムを活用したまちづくり推進等検討調査」検討会（第2回）柏市	30	敦賀駅周辺整備展望研究会（第3回）
17	H17地域資源活用構想策定等支援調査報告会・情報交流会		
21	* プロジェクト説明会（鎌ヶ谷東口駅前広場）		
23~24	日英都市交流会議		
27	第10回県都岐阜市のまちづくり協議会		
27	* 平成17年度まちづくり交付金講習会（東京会場）		
27	* まちづくり交付金情報交流協議会設立総会		
27	* 平成17年度まち交大賞表彰式		
27	* まちづくりシンポジウム		
27	* まちづくり交付金情報交流協議会第1回企画運営委員会		

*印のある項目については、他ページに解説があります。

【財団関係諸団体】

《インテリジェントシティ整備推進協議会》

1/12	幹事会	22	第5回「環境負荷の小さなIT化都市研究会」
31	第4回「環境負荷の小さなIT化都市研究会」	16	「環境負荷の小さなIT化都市研究会」コア会議
2/24	幹事会		
6	ITまちづくり相談制度 宇都宮市打合		
8	ITまちづくり相談制度 高崎市打合		

《地方の拠点まちづくり協議会》

2/3	まちづくり講演会	10	広報紙瓦版 大洗町取材
21	運営会議		
28	第3回「浜松市まちなか魅力化戦略研究会」		

《都市地下空間活用研究会》

1/10	地下交通ネットワーク整備制度研究分科会制度WG会議	9	第25回 定例懇話会
17	地下交通ネットワーク整備制度研究分科会コアメンバー会議	23	中心市街地と地下ネットワークのあり方分科会 幹事会
20	第3回 地下交通ネットワーク整備制度研究分科会	27	大阪分科会 幹事会
25	中心市街地と地下ネットワークのあり方分科会幹事会		
2/9	第1回 中心市街地と地下ネットワークのあり方分科会		
20	事業部会		
20	第24回 定例懇話会		

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

1/27	講演会「新年度予算を中心に都市整備をめぐる最近の動きについて」		
2/9	福岡地区都市基盤施設整備見学会		
10	北九州地区都市基盤施設整備見学会		
23	技術交流部会WG小委員会		



§ 「まちづくり交付金制度等」講習会開催報告

まちづくり交付金制度は今般の国の緊急財政下にも関わらず、来年度も大幅に予算枠が拡大されるとともに、新たに制度拡充が図られる予定となっています。当機構は国土交通省の担当官から直接説明を受けられる「まちづくり交付金制度等」講習会を東京（2月27日開催、参加者約350名）、大阪（3月2日開催、参加者約210名）、名古屋（3月8日開催、参加者約170名）で開催しました。各会場は満員で、皆様のまちづくり交付金制度等への関心の高さを伺うことができました。

講師

◇まちづくり交付金の今後について

国土交通省 都市・地域整備局 まちづくり推進課
 ・都市総合事業推進室長 望月明彦氏
 ・同室 企画専門官 脇山芳和氏

◇中心市街地の活性化について

国土交通省 都市・地域整備局 まちづくり推進課
 ・企画専門官 渡邊浩司氏 他

◇まち再生出資業務等について

国土交通省 都市・地域整備局 まちづくり推進課
 ・都市開発融資推進官 里見晋氏 他
 (財)民間都市開発推進機構
 ・まち再生支援部長 金子晃氏 他



§ 平成17年度 第3回プロジェクト説明会 『鎌ヶ谷東口駅前プロジェクト』の開催報告

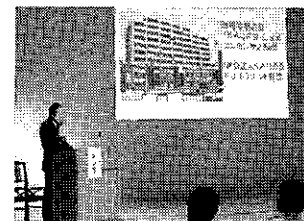
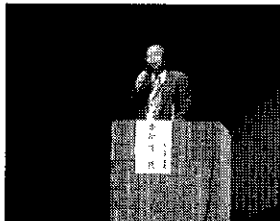
平成17年度第3回プロジェクト説明会を去る2月21日に開催し、80名を超える方々にお越しいただきました。今回のプロジェクト説明会では「鎌ヶ谷東口駅前プロジェクト～駅広・民地の一体的整備と官民協働一元管理をめざして～」を取り上げました。

このプロジェクトは当財団主催土地活用モデル大賞で国土交通大臣賞を受賞されたもので、その「まちづくり」のきっかけづくりを行われた鎌ヶ谷市とまちづくりを協働で行われた地権者を代表してKAOの会にお話を伺いました。

土地活用モデル大賞において評価された「駅広・民地の一体的整備と官民協働一元管理」について、行政と民間双方の立場から開発に着手した背景、開発の過程、開発後の運営・管理についてのお話を伺いました。

駅前広場に仮換地を受けた地権者が協働で描いた夢、鎌ヶ谷市の駅前広場の整備に対して示した柔軟な理解と対応などについて示唆に富む内容となりました。また完成後の新旧住民による駅前広場の運営管理についての柔軟な発想、NPOの運営のノウハウなどが示された。

「鎌ヶ谷東口駅前プロジェクト」で築かれた土壌を基として、現在推進されている西口における「官民協働のくらしの道ゾーン」など、新たなまちづくりの展開も示されました。



日時 平成18年2月21日(火) 13:30~16:30

会場 鎌ヶ谷市東部学習センター

テーマ 「駅広・民地の一体的整備と官民協働一元管理をめざして」

講師 鎌ヶ谷市都市部都市整備課課長補佐 宗川 洋一氏
 NPO法人 KAOの会 理事・事務局長 下田 祥裕氏



§ 大学と地域の連携協働による都市再生の推進

(内閣官房 都市再生本部事務局)

◆はじめに

都市再生本部は、平成13年5月に環境、防災、国際化等の観点から都市の再生を目指す21世紀型都市再生プロジェクトの推進や土地の有効利用等都市の再生に関する施策を総合的かつ強力に推進するため、内閣総理大臣を本部長、関係大臣を本部長として内閣に設置されました。この4年半の間、政府として総力を挙げて重点的に取り組むべきプロジェクトを「都市再生プロジェクト」として累次に亘り決定するとともに、民間都市開発投資の促進や、全国都市再生モデル調査など、「自ら考え自ら行動する」地域の都市再生への取組を推進するための施策を講じてきました。

平成17年12月6日、第15回都市再生本部が開催され、「大学と地域の連携協働による都市再生の推進」が第10次都市再生プロジェクトとして決定されました。このプロジェクトは、大学をまちづくりの重要なパートナーと位置づけ、多面的な連携協働により、地域における人材の育成と創意工夫によるまちづくりの取組による都市再生の推進を図ることを目的としています。

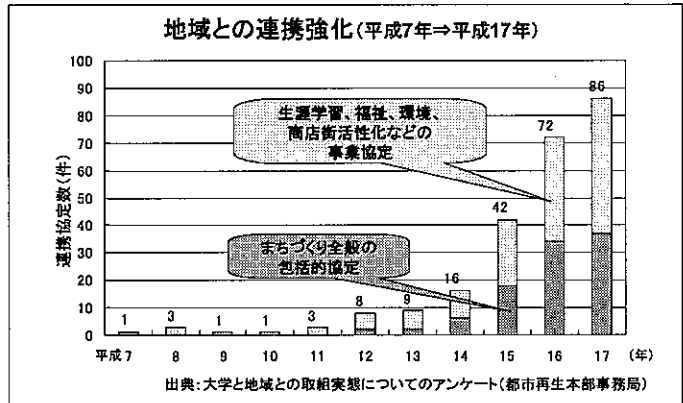
◆大学と地域の連携協働

近年、大学と地方公共団体、住民、NPOなどが連携協働し、中心市街地活性化対策をはじめとした地域の課題解決や魅力の向上を図る取組が増えています。一つの指標として、地方公共団体等と大学が協定を締結する数が増えていることが挙げられます。(図1参照)

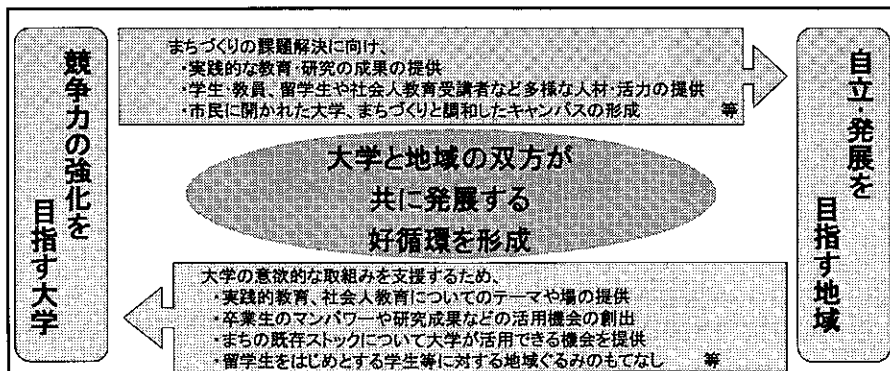
地域にとって、大学は、まちづくりの課題に関する教育・研究やキャンパスという機能的・空間的にも都市を形成する重要な要素を有し、多くの若者を含む学生・教員などが継続的に集まる都市の賑わいの源泉となります。また、研究生・留学生がいることから、国際交流の機会を提供する場になっているとともに、社会人教育・産学連携などを通じたまちづくりを担う人材育成に大きな役割を果たしている。

他方、大学を取り巻く環境は、少子化や国立大学の独立行政法人化など、大きく変動しています。大学は、存立を維持することや効果的な教育方法を生み出すために、地域ニーズに即した教育・研究や地域との交流等を行い、成果を地域に還元し、それを大学の活性化に結びつける、あるいは個性・特色ある教育・研究活動に生かす取組が不可欠となってきています。

自立・発展を目指す地域と競争力強化を目指す大学との連携協働した取組を促進するためには、双方が共に発展するように、ギブ・アンド・テイクの精神で互いに支え合えるような好循環を形成することが必要であると考えられます。(図2参照)



(図1 地域との連携協定の推移)



(図2 都市再生に向けた概念図)

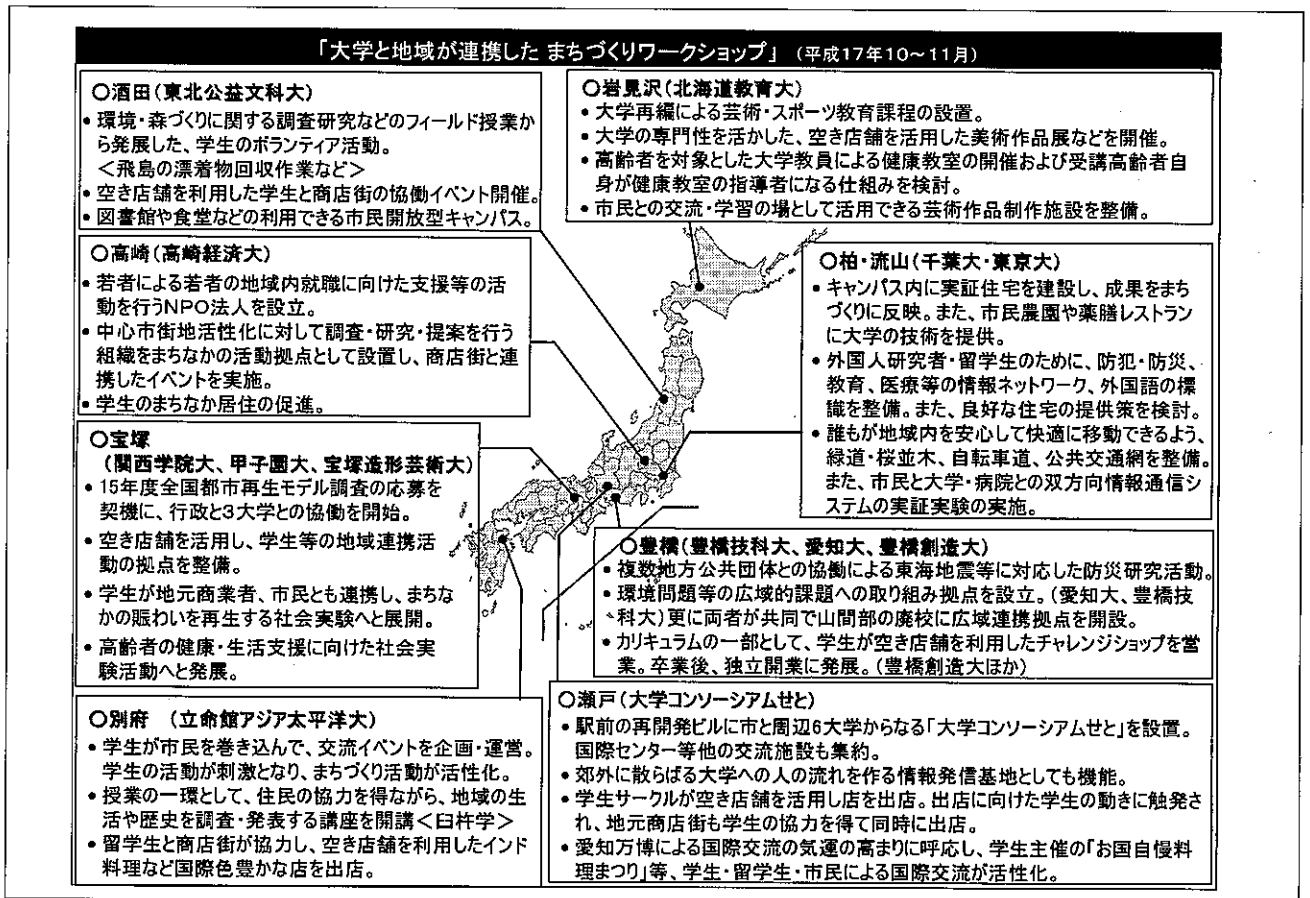


◆大学と地域が連携したまちづくりワークショップ

大学と地域の連携協働による取組は、全国都市再生モデル調査においても、多数の提案がされています。当該モデル調査に採択された地域など、先導的な取組を行っている8地域で、「大学と地域が連携したまちづくりワークショップ」を開催し、大学関係者、地方公共団体、地域住民が一同に会し、取組（図3参照）の紹介や将来へ向けての課題や展望について意見交換を行いました。

個性・特色ある実践的な教育・研究の取組事例として、岩見沢での学生・教員の専門性を活かした美術展などの開催や、宝塚での学生が商業者・市民とともにオープンカフェで集客性を検証する社会実験、豊橋でのカリキュラムの一部として、学生が中心市街地でチャレンジショップを営業するなどの紹介を頂いたとともに、学生・教員などがまちの賑わいを創出する取組事例として、高崎での学生ゼミ活動がNPOへ展開し、学生による若者就職支援事業の実施や、瀬戸での学生サークルの空き店舗活用を契機とした商店街の活性化や、別府の留学生在が商店街と協力し国際色豊かな店を出店するなどの紹介を頂きました。

また、留学生等の受入環境整備や市民とのふれあい・交流促進の取組事例として、柏・流山の留学生等のニーズに合った住宅の整備等により外国人の生活支援を検討するなどの紹介を頂いたとともに、市民に開かれた大学キャンパスについて、酒田での市民が自由に散策でき、自由に図書館や食堂を利用できるキャンパスなどについて紹介を頂きました。



(図3 大学と地域が連携したまちづくりワークショップ開催地の取組概要)

◆都市再生プロジェクトの推進

今後、「大学と地域が連携したまちづくりワークショップ」での課題等を踏まえ、大学と地域との連携を促進するための環境整備に当たっては、地域再生本部や総合科学技術会議との連携の下、文部科学省をはじめ関係各省等と一体となって取り組むこととしています。

詳細は、都市再生本部ホームページ (URL ; <http://www.toshisaisei.go.jp/>) をご覧ください。



§ 「高知駅周辺拠点街区まちづくりアイデア募集」説明会 開催報告

平素より当財団の諸活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、当財団では、高知市より委託を受け、高知駅周辺拠点街区地権者の情報交換を目的にまちづくり研究会等を平成12年度から定期的に行ってまいりました。

まちづくり研究会を含め、拠点街区の地権者の方々と、土地利用方針の検討を行ってきた結果、広く一般からまちづくりの方向性についてお尋ねすることになり、昨年末より、高知市の主催で「高知駅周辺拠点街区まちづくりアイデア募集」が実施されております。

つきましては、会員の皆様に「高知駅周辺拠点街区まちづくりアイデア募集」についてご承知いただくとともに、ふるってご応募いただきたいといった趣旨で、去る2月13日、当財団において、主催者である高知市都市整備部高知駅周辺都市整備課長ご出席のもと、表記の説明会を開催いたしました。

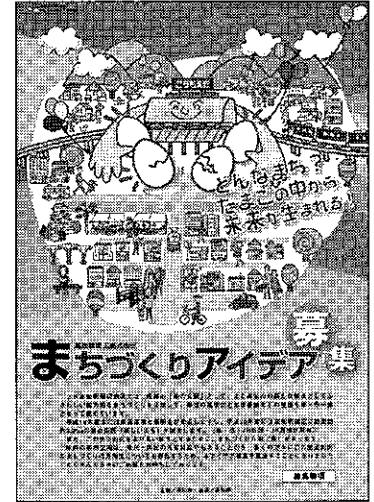
説明会当日は、大変ご多忙の中、また呼びかけ期間が短かったにも関わらず、多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

当説明会では、まず高知市から中心市街地の整備状況及び現況報告を行った後、「高知駅周辺拠点街区まちづくりアイデア募集」のご説明をさせていただき、その後、参加者からの熱心なご質問への回答などを行いました。



「高知駅周辺拠点街区まちづくりアイデア募集」は、高知市にて4月14日まで受け付けておりますので、このたび説明会にご参加いただけなかった会員の皆様も、ぜひご応募いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【参考】「高知駅周辺拠点街区まちづくりアイデア募集」のホームページ
<http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/17/1709/index3.htm>



(財)都市みらい推進機構
住所 東京都文京区音羽2-2-2
アベニュー音羽3階
電話 03-5976-5860
FAX 03-5976-5858
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当財団は、1985年7月に公民連携支援母体として建設省《国土交通省》により設立された都市開発支援財団です。200弱の自治体・民間企業・公益法人に会員としてご支援頂いております。シンクタンク機能からプロデュース機能の拡充を図っております。

- ◇都市拠点開発・都市再生支援
- ◇中心市街地活性化支援
- ◇低未利用地有効活用支援 他

当財団のドメイン名を変更いたしました。今までのメールアドレス、ホームページのドメイン名より「or」を除いて下さい。
(例) 新ドメイン名 XXX@toshimirai.jp 旧ドメイン名 XXX@toshimirai.or.jp